

2026年5月20日

加盟団体代表者 各位

公益財団法人 JAPAN BOWLING
競技運営改革委員長 柳川 弘行
(公 印 省 略)

競技フロアへのボール持込制限の緩和及びレーン移動方法の変更について

拝啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当団体の諸事業に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、これまで競技フロアへのボールの持ち込みにつきましては、「外形的に4個以内」としての制限を設けて運用してまいりましたが、参加選手の皆様より運用の緩和を求める多くの要望をいただいております。

これを受け、当委員会において審議を重ねた結果、選手の利便性向上及び大会運営の円滑化を図るため、ルール上の制限緩和及びレーン移動時の運用変更を決定いたしました。

つきましては、貴連盟内の関係者及び選手への周知をお願い申し上げます。

ご不明な点等ございましたら、JB事務局(担当：鈴木)までご連絡ください。

敬具

記

1. 競技フロアへのボール持込制限の緩和

・変更前：外形的に4個以内

・変更後：ボールバッグ2つ（ボール最大6個）まで

※「ボールバッグ」には、シングルボールバッグを含みます。

※バッグに入れずに“裸”の状態や、シーソー・手ぬぐい等のみを使用しての運搬は「ボールバッグ」とは認めませんが、ボール落下の危険性があるため、このような方法での運搬は非推奨といたします。

2. レーン移動時におけるボールバッグの扱い

レーン移動時における二度手間の解消と選手間のトラブル防止を目的として、移動方法を変更します。

・変更前：ボールバッグは持たずに（ボールのみを持って）移動

・変更後：ボールバッグを持って移動

3. ボウラーズエリア内の混雑緩和へのお願い

持込個数の緩和に伴い、ボウラーズエリア内の混雑が予想されます。エリア内の安全なスペースを確保するため、練習投球終了後、「明らかに使用しないボール」については、ボール置場へ戻していただくようお願いいたします。

4. 適用時期

59th Japan Rookies Cup 2026 より順次適用いたします。

以上